

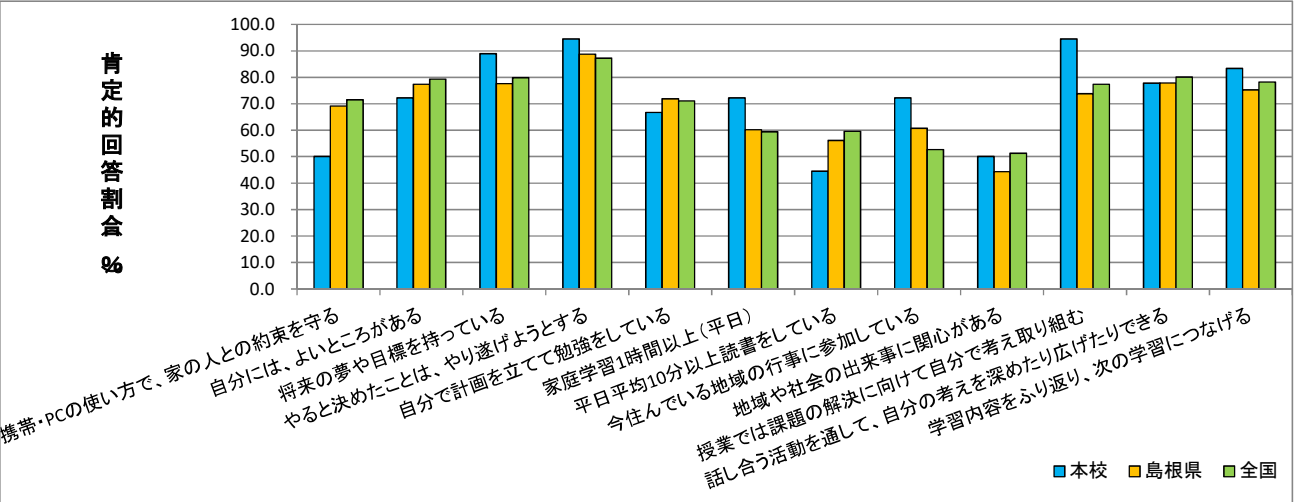
(1)学力調査結果から見られた傾向

	成果と課題(○:成果, ●:課題)	対 策(・)
国語	○漢字を正しく書くことができる。 ○説明文の選択肢問題を正しく答えることができる。 ●物語の登場人物の行動や気持ちを叙述を基に捉えることが難しい。 ●条件に合わせて文章を書くことが苦手である。	・読み取りの学習では、叙述を基に考え、話し合う場面を多くする。 ・条件に合わせて文章を書く学習を多く取り入れる。
算数	○図形の定義や性質を基に、図形の構成を考えることができる。 ○目的に応じたグラフを選ぶことができる。 ●割合の学習を日常の場面と対応させて考えることは難しい。 ●簡単な計算を間違えてしまうことがある。	・日常場面をイメージした学習問題を組み立てる。 ・計算練習の時間を定期的に組み入れる。
理科	○観察結果を客観的に分析し、解釈できる。 ○自分の予想と実験結果を比べてまとめを考えることができる。 ●実験方法や器具を十分理解していない面がある。	・実験を通して覚えることやつかませたいことを確実に押さえる。 ・単元ごとに振り返って、学習内容が定着するようにする。

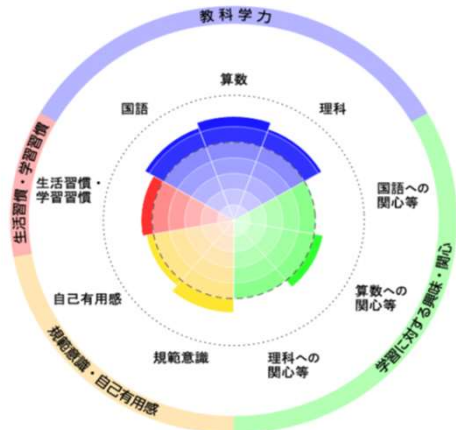
(2)児童質問紙調査から見られた傾向

	成果と課題(○:成果, ●:課題)	対 策(・)
	○家庭学習の習慣が身に付いている。 ○課題の解決に向けて自分で考え取り組むことができる。 ●読書量が少ない。 ●テレビゲームをしたり、スマートフォンなどでSNSや動画視聴したりする時間が多い。	・家庭学習に読書を取り入れる ・メディアに関する協力を保護者に呼びかけたり、子どもと保護者が共に学ぶメディア学習を組み入れたりする。

(3)児童質問紙調査の結果より(学力との相関が指摘されているものや、教育委員会として注目しているものを挙げています。)



(4)学力・学習状況調査結果チャート(破線は全国平均)



(5)その他、今後特に力を入れて取り組むこと

・保護者の協力を得て、共に取り組める読書を工夫する。  
・条件に合った文章を書く活動を多く取り入れ、必要な情報を選んだり、伝わりやすい文を考えたりできるようにする。  
・日常場面から学習が展開したり、学習したことが日常の場面でも活用できたりする等、学習と日常を関連付けた授業を工夫する。

【受検者数】

18 名

※欠席等により調査によって受検者数が異なる場合は、最少の受検者数をもって表示。